

XEBIOHOLDINGS

Integrated Report 2024

こころを動かすスポーツ。

XEBIOGROUP

02 イントロダクション
Introduction

企業理念・経営方針 Corporate Philosophy and Management Policy	02
グループステートメント The XEBIO Group statement	03

05 トップメッセージ
President's Letter

07 事業戦略・店舗紹介
Business Strategy and Store Introduction

事業戦略 Business Strategy	07
店舗一覧 Store Introduction	13

15 サステナビリティ
Sustainability

基本方針・推進体制 Basic Policy and Promotion Structure	15
5つのマテリアリティ〈重要課題〉 5 Materialities-(Our Five Most Important Issues)	16
■地域社会との共生 Coexistence with Communities	17
■お客様と健康で豊かなくらしの実現 Realization of Healthy and Comfortable Living for Customers	18
■サーキュラー・エコノミーの推進 Advancement of Circular Economy	19
■サプライチェーン全体のマネジメント Management of the Whole Supply Chain	19
■脱炭素社会の実現 Realization of Decarbonized Society	20

21 成長の軌跡
Growth Trajectory

23 コーポレートガバナンス
Corporate Governance

26 コンプライアンス
Compliance

27 会社概要
Company Profile

会社概要 Company Profile	27
経営体制 Management Structure	28

29 IR情報
IR information

企業理念

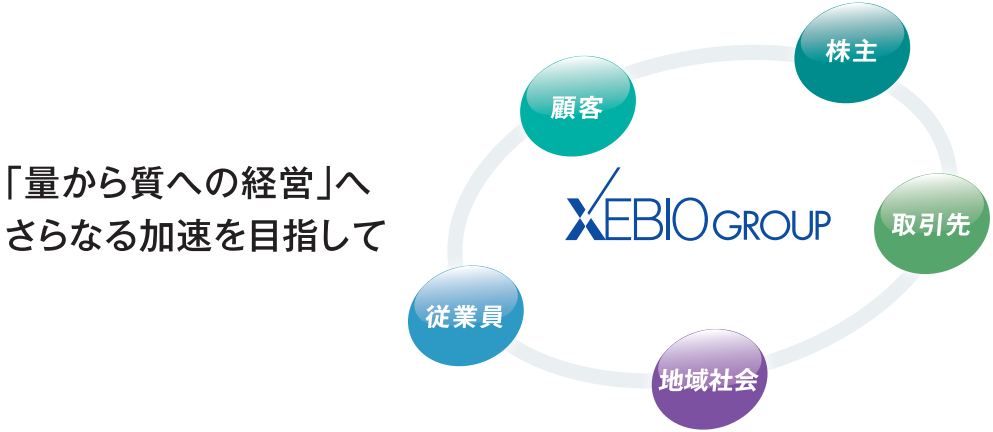
公正な競争原理のもと、良質な人材、資金、組織を作り
〈お客様第一主義〉にもとづいた事業活動を通じて、社会貢献を果たしていくこと

経営の基本方針

- 一、量的指標ではなく、質的指標としての数値目標を設定します
- 一、ナンバーワンではなく、オンリーワン企業として事業の質的拡大を図ります
- 一、株主様、お客様、お取引先様、従業員、地域社会それぞれにオンリーワンとして認識していただける企業を目指します

当社グループは、良質な人材、資金、組織を公正な競争原理のもとにつくることで、「お客様第一主義」にもとづいた事業活動を通じてお客様、株主様、お取引先様、従業員とともに成長し社会に貢献することを経営の理念としております。

スポーツ、ファッション商品を通して、お客様の求める最高の商品価値を創造、提供できる商品開発とショッピングそのものの楽しさやサービスを提供できる店舗づくりを継続的に実現し、「オンリーワン」企業になることを経営の基本方針として、日々努力を重ねてまいります。



社名の由来

XECHORISTOS + **BIO**S
(個性的な) (生活)

私たちは、「XEBIO」のXから限りなく伸びるアンテナで時代に応じ、時代を読み、時代を創る個性集団として、次なる時代を牽引しつづけていきたいと考えます。

社名XEBIOには、当社の社会的使命をこめ、社会に向かって発する宣言から由来します。XEBIOの語源は、すべての現代語の根幹とされるギリシア語を組み合わせて創造されたもので、分解すると上記のようになります。

Corporate Philosophy

Under the principle of fair competition, XEBIO Group will strive to contribute to society with our business operations based on the "Customer First Standard" by creating qualified human resources, financing, and structuring the company.

こころを動かすスポーツ。

スポーツに感動できるひとが たくさん住んでいる国は明るい国です。

スポーツの観戦で思うことがあります。

競技場を揺るがすほどの人間の渦の中で、これほど人が一体となり
歓び、驚き、悲しみ、悔しがり、涙するような気持ちを共有することが
ほかにどれほどあるのだろうか。

生まれも育ちもちがうこんなに多くのひとと気持ちをひとつにできるのはなぜか。
その芽は、初めてスポーツをした頃から生まれているのではないか。

出来なかったことが初めてできた、自己ベストの瞬間。
勝利を掴んだ一瞬。
届かなかった一瞬。

ひとつひとつの大切な時間を積み重ねて
こころが感動することを覚えていく、おおきく豊かに育っていく。
スポーツに感動できる人がたくさん住む国の未来は明るい、わたしたちは信じています。

こころを動かす体験をひとつでもたくさん、あなたに。
ゼビオグループ、すべての人間の仕事です。



A Promising Future with a Country that Values Sports

We aim to spread the phrase "Sports that Move the Heart" as we believe that by bringing the excitement and aspirations of sports to people, we can create a future full of hope.



NO HEART, NO SPORTS. さあ、スポーツと未来へいこう。

ゼビオグループは、生まれて60年。
もっと、ずっと、スポーツが人の生きる力になるように。
こころを動かす新しい体験をひとつでもたくさん、あなたに。
ゼビオグループすべての人間の仕事です。

NO HEART, NO SPORTS.To the Future, with Sports

XEBIO was established 60 years ago. Everyone in XEBIO Group is committed to providing you the energy to live fully and to deliver more inspiring new experiences through sports.

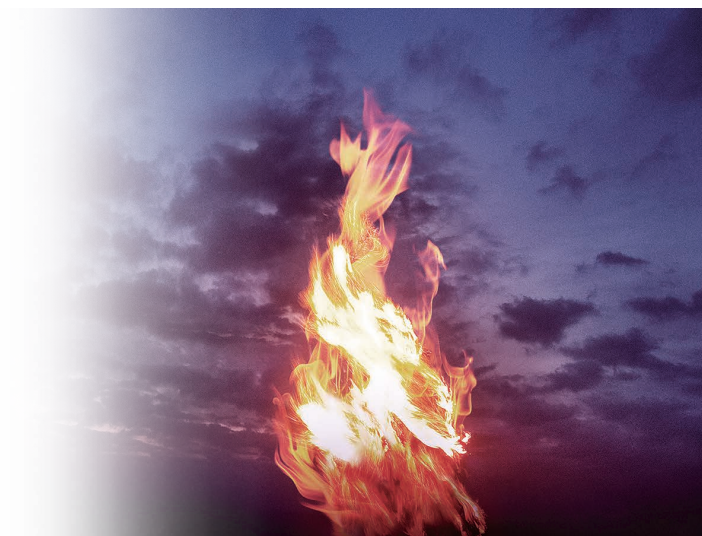
スポーツで叶える。

わたしたちが生きるこの国で、
スポーツのちからで叶えられることは少なくないと考えています。

スポーツに熱狂する瞬間のよこびより、
その先の未来を一緒に考え実残するひとを求めています。

Fulfill Your Wish with Sports

We believe there is so much we can achieve with the power of sports in the country where we live. We seek talented individuals with foresight who are willing to pursue the future together as a team.



スポーツの国をつくろう。

この星に生まれたすべての人間には、
スポーツをする自由がある。

それは守られ、尊重されるべき権利ではないか。

すべてのひとがスポーツをしたいと願うとき
表現する自由を応援したい。

Let's Create a Sports Nation

Every person on this planet has the right to participate in sports with respect and assurance. We aim to support the voices of all people appealing to their wish to play sports.



詳しくはこちらから▶



NO HEART, NO SPORTS. さあ、スポーツと未来へいこう。

当社が創業から一貫して目指していることは、お客様第一主義に基づきひとりでも多くのお客様に感動価値を提供することです。

時流の変化により、地域のお客様が店舗に求めるニーズ、店舗の存在意義は変化しますが、スポーツの魅力と可能性を最大限に引き出し、それをビジネスとして価値に変えていくこと。そしてお客様との接点を通じて、スポーツをすることの「感動」をお客様と共有することが私たちスポーツナビゲーター®のミッションです。

当社は2023年度に創業60周年を迎えました。この節目を「第三の創業期」と捉え、これからの100年を築き上げていくために、中長期的なマーケットの変貌に対応し、新しい時代を切り開くための業態開発、独自性を確保するための商品開発、そして人と人、スポーツと人の懸け橋となるスポーツナビゲーター®の育成により、オンリーワン企業として進化し続けていきます。

日本は今、様々な社会問題に直面しています。スポーツは国や言葉、年齢、宗教など様々な違いを超えて、人の心を感動で満ち溢れさせることができます。そして、スポーツに感動できる人がたくさん住む国の未来は明るいと、私たちは信じています。当社は私たちが掲げるグループステートメントを体现し、広く世間に発信していくことで、この役割を担っていきます。

私たちの未来にご期待いただくとともに、今後とも皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

代表取締役
諸橋 友良



NO HEART, NO SPORTS. XEBIO Group Navigates You to The Future with Sports

Since our founding, we have consistently offered customers service with emotional value based on our "Customer-First" policy.

In fiscal year 2023, our company celebrated its 60th anniversary, we are going to proceed to be the exclusive company corresponding to the transfiguration of the medium-to-long-term market, developing to open new possibilities for the new age, unique product development, and educating Sports Navigators to act as a gateway between people and sports.

Japan is currently facing various social issues. Sports always ensure an emotional experience filled with joy, regardless of nationality, language, age, or religion. We believe those people affected by the pleasure of sports will lead the country to a bright future.

We kindly ask for your continued guidance and support in the days to come.

2030年に向けて、 そしてその先へ。

世代を超えて、国境を超えて、言葉を超えて、
感動というかけがえのない感情を共有できる「スポーツ」。
私たちゼビオグループは、3つの価値をご提供いたします。

「商品価値」「使用価値」「感動価値」それぞれの価値をご提案の中で
スポーツの持つ可能性を追求し、その価値の最大化に取り組み、
皆様の夢を叶えるお手伝いが、我々のビジョンであると考えています。

スポーツを楽しむすべての人へ。

スポーツによって非日常体験をテーマにした店舗は、お客様にワクワクしてご来店いただくために、店内には往年の名選手たちのユニフォームやサインが入った用具が並ぶ「スポーツの殿堂」などの演出とともに、圧倒的な品揃えと常に変化する売場構成により、毎回訪れるたびに違う発見ができる空間づくりを行っています。

この中で、スポーツの楽しさを伝え、スポーツに大きな目標や夢を抱くことの大切さ、そしてスポーツを通して親から子へ大切な想いをつなぐ橋渡しとなるような「心が躍る」「会話が弾む」「感動体験が得られる」、何度でも訪れたい場所となることを目指しています。

また、通勤や通学、何気ない日常生活の合間などに、ふと「スポーツをしたい」と思った時、すぐに立ち寄っていただける身近な場所にも店舗を設けることで、お客様の熱い気持ちやモチベーションをサポートし、都心部では、エキナカやエキチカなど「駅」を中心として毎日多くの人が行き交う場所に「スポーツカジュアル」を中心とした品揃えの店舗を出店。スポーツに対する幅広い客層をターゲットにした売場構成を行い、お客様のすぐ近くで夢の実現に向けたサポートをしたいと考えています。



2030 and Beyond

The values of sports give experience and can be shared regardless of language, age, nationality, or ethnicity. XEBIO Group strives to provide three individual values:
1) Product Value 2) Use Value 3) Emotional Value
Our mission is to offer customers opportunities in sports and maximize these three values to support our customers further to accomplish their goals and dreams.

地域を知り、根ざし、そして応える。

それぞれの地域特性に合わせたマーチャндаイジングを実現し、全国どこであってもその地域に愛される店づくりを行っていくことがオンリーワン企業を目指すゼビオグループの役割であると考えています。そのため、人口が多く情報発信力もある首都圏店舗では、実際にアスリートとして活躍する選手や販売のプロが店舗に立つことにより、そこで得たさまざまな最新情報を共有し、売場づくりなど地方店舗にも即座に波及できる体制を整えています。

一方、地方では、店舗そのものがより深く地域に根ざす身近な存在となり、きめ細やかでスピーディにニーズにお応えできる運営を行っています。首都圏でも地方でも、その土地を熟知しお客様の声に応えることが結果的に地域活性化への貢献となるはず。それを推進していくためにも、全員が「こだわり」と「プライド」を持ったプロフェッショナル集団であり、常にお客様の期待以上の満足を提供し続けることにより、地域一番店の地位を築くことを目指しています。

ゼビオグループは、お客様のニーズに応える複数店舗業態の展開により、首都圏や地方をカバーできる総合力を高めています。



Understanding the Community, Developing Roots, and Responding to Needs

XEBIO Group arranges the product lineup to adjust to the needs of each local region, as we continuously work hard to be chosen from the people of that community. Stores in populated metropolitan areas deliver more specific categories of products and services, whereas suburban regions have an operation system to adjust and adapt to distinct needs. We carefully position our portfolios of retail store brands to respond to various environments and requirements.

「接点」を増やし、 ビジネスモデルの差別化を推進。

ゼビオグループは、一つの店舗の中で、お客様との「接点」を長く持ち続けることを強みとしています。それは、「スポーツナビゲーター[®]」と呼ばれる仲間の存在です。スポーツナビゲーター[®]は、初めてスポーツに触れる方から、さらなるレベルアップを目指すプレーヤーに至るまで、お客様との接点から「商品価値」「使用価値」「感動価値」の3つのバリューポイント[®]を提供しています。私たちは、「気持ちよく買い物ができた。また遊びに行きたい」と、スポーツをより身近に、より安心して、誰でも楽しんでいただけることを最大の喜びとして、スポーツ用品の定義を拡張し、スポーツ周辺を充実させる領域の最大化を推進しながら、スポーツを取り込んだ新たなライフ

スタイルの提案を目指しています。

ゼビオグループでは、スポーツと親和性のあるカテゴリーを事業や自社ブランドとして展開することにより、モノを買った後の悩みについて「コト軸」を中心にお客様のスポーツライフを総合的にサポートしています。「健康」や「未病」を目的に拡大するスポーツ人口への対応をはじめ、スポーツをする人の「より楽しく、より快適に」という想いに合致したモノからコト軸へのシフトは、ご購入いただいた商品に関する悩みなどを解決した上で、さらに新たなニーズを発掘することにもつながります。



Takeda Sports XEBIO SPORTS EXPRESS Victoria SUPER SPORTS XEBIO L-Breath feel the earth, open-air sports Victoria Golf GOLF PARTNER NEXAS

Creating Strong Bonds with Customers and Differentiating Our Business Model

Every staff in XEBIO Group is a Sports Navigator[®]. Our Sports Navigators guide customers to meet their needs for all individual levels of challenge, building solid relations with the customer by offering our "Three Value Points." The Sports Navigators focus on how our products and services deliver the solution and essential value gained through sports.



新たなスポーツビジネスを創造し、価値の最大化を目指す。

ゼビオグループでは、様々なスポーツカテゴリーにおいて、常に新たなスポーツビジネスのありかたを追求しています。

ゴルフカテゴリーにおいては、プラットフォームの構築により、お客様に快適なゴルフライフとゴルフを通じた豊かなライフスタイルの提案を掲げています。そして、新品のゴルフクラブ販売、中古クラブの買取り及び販売、練習場経営やゴルフレッスンの展開、ゴルフ場予約サイト運営など、グループにしかない独自のゴルフビジネスネットワークを生かし、多角的にゴルフプレーヤーとの「接点」を持ち続けることを目指しています。

競技自体の魅力はもちろん、伝統やルール、礼儀といった教育的要素も含まれることから、永続的に多くのことが学べる

ゴルフは、老若男女問わず楽しんでプレーできる生涯スポーツです。私たちは「子どもから高齢者まですべての層にアプローチできる強み」「初心者からアスリートまで競技レベルに関係なくサポートできる体制」そして「地方や首都圏など地域特性に特化した店舗によるきめ細やかな対応と運営」という3つを軸に、ゴルフの魅力や素晴らしさを伝える役割を担っています。

ゴルフなどのスポーツの可能性を追求し、小売りととどまらず、上達やスポーツ観戦の環境も提供しながら、今後シュリンクへ向かうと言われているゴルフマーケットの価値を最大化することで、今後の新しいスポーツビジネスのありかたにチャレンジしています。



Building New Sports Businesses and Maximizing Value

XEBIO Group continues to innovate the sports business industry and develop new norms. With the platform, we offer our customers a pleasant lifestyle through golf, using our unique business network and having various relationships with people playing golf. Customers can buy new or used products, trade in old golf clubs for cash or credit, obtain information, and receive personal lessons at one of our golf ranges. In these ways, we strive to create and grow the various Value Points we provide to each of our customers.

“スポーツの可能性”を最大限に引き出す。

人とスポーツの関わり方は、「する」だけでなく「仲間をつくる」「観る」「応援する」など多岐に渡ります。ゼビオグループは、「スポーツ」を起点にして、様々な業種・業態と協働し、「スポーツの新しい価値」を一人でも多くの方に提供していく「スポーツコングロマリット構想」のもと、コア事業である「スポーツ用品小売業」の他にも、様々なアプローチを試みています。

3人制バスケットボール「3×3」では、国際大会の誘致・開催や国内トップリーグの運営から全国各地でエンジョイ大会の開催までを展開し、競技の普及・発展、および地域活性化に貢献しています。また、アイスホッケーアジアリーグに所属する「東北フリーブレイズ」に対しては、クラブ経営や運営をサポー

トしています。

地域に根ざす企業としてゼビオグループは、スポーツを通じたコミュニケーションの場を提供すると共に、競技人口の拡大や青少年の育成、そして心身の健全な発展に役立ちたいと考え、サッカー・野球・バレーボール・フットサルをはじめとして、全国各地で様々な競技の大会やイベントのサポートを行っています。

これらの取り組みを通じて、私たちが標榜する「スポーツの国」の実現に向け、日本のスポーツ環境に変化をもたらし、全ての人が「スポーツ」で繋がり、新たなコミュニケーションが形成される社会の実現に向け活動していきます。



Expanding the Potential of Sports

There are various ways to be involved in sports. XEBIO Group collaborates with varied industries and business conditions based on sports and attempts different cooperative approaches with the conception of offering a new value in sports. We advocate the creation of a country with an innovative sports environment and actively engage to achieve a society and form an advanced communication style with people connected through sports.

全てをひとつに。「スポーツポイント」へ参画。

全てをひとつに。 スーパースポーツポイントクラブ誕生

ゼビオグループ共通で利用できる「スポーツポイント」のポータルサイトです。

新たな会員・ポイントサービス「スポーツポイント」が2024年3月5日(火)に誕生し、ゼビオグループは「スポーツポイント」へ参画しました。

参画に伴い、スーパースポーツゼビオ、ヴィクトリア、ヴィクトリアゴルフ、エルブレス、PGA TOUR SUPERSTORE、ゴルフパートナー、ダブルイーグル、タケダスポーツ、ネクサスなどの各店舗や対象の公式オンラインストア・サービス、対象のクレジットカードやプレイヤーズIDカードで、「スポーツポイント」を共通ポイントとして、獲得・利用いただけます。

より使いやすい会員・ポイントサービスを目指して、「スポーツポイント」は、スポーツの可能性を最大限に引き出し、お客様ひとりひとりの価値に変えていくサービスをこれからも提供していきます。

SPORTS POINT

特徴

特典 01 ポイントがたまりやすい

さまざまなサービスで、ポイントがたまる！
ゼビオグループの対象サービスをご利用ごとにポイントがたまります。

特典 02 ポイントが最大3%たまる

ゼビオクレジットカードでのお支払いなら、ポイントアップ
通常 0.5 ~ 1%のポイント獲得が、ゼビオクレジットカード払いなら最大 3%になります。

特典 03 ポイントが使いやすい

いつでも 1 ポイント 1 円として使える！
ゼビオグループ各店舗と公式オンラインストアにて 1 ポイント 1 円 ~ お使いいただけます。

特典 04 有効期限は1年

ポイント付与された日から365日後まで
スポーツポイントの有効期限は発行日より 365 日後までです。有効期限が満了した場合は、期限内に新たにポイントを獲得した場合は有効期限は延長されます。

特典 05 会員限定の特典も盛り

チケット/ギア
工賃特別価格
ポイントアップ
キャンペーン

スポーツポイントにご登録いただいた会員様には、ポイントアップキャンペーンや工賃特別価格などさまざまな特典をご用意しています。

EC「店舗受取サービス」570店舗に大幅拡充。

ゼビオグループは、公式オンラインストア「Super Sports XEBIO」「Victoria」「Victoria Golf」「L-Breath」でお買い上げいただいた商品の受け取りを、お近くの店舗指定で受け取れるサービス「店舗受取サービス」を、ゼビオグループ570店舗に大幅拡充いたしました。

サービス拡充により、全都道府県での商品受け取りが可能となり、お客様の利便性向上に努めるとともに、持続可能な物流環境の維持に貢献していきます。



注意事項はこちらを
ご確認ください▶



Consolidate all loyalty cards into a single card, "Sports Point"

The new membership and point service "Sports Point" launched on March 5, 2024, with the XEBIO Group participating. Aiming for more user-friendly membership and point services, "Sports Point" will continue to maximize the potential of sports and convert them into value for each customer.

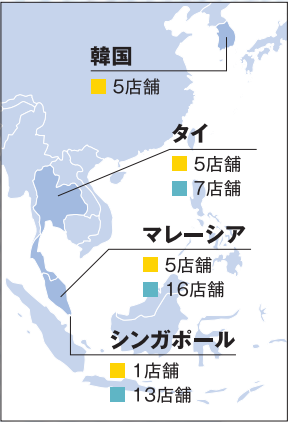
ゼビオグループ 895店舗 (FC除く) 2024年3月31日現在

	看板	特徴	店舗数
■		あらゆるスポーツ用品・用具を取り揃えた大型総合スポーツ専門店	174
		地域特性に合わせた品揃えとサービスを展開する総合スポーツ店	
※	X'tyle	カジュアルスポーツウェアショップ	70
■		度付レンズ対応可能なスポーツサングラスを扱うスポーツメガネ専門店	29
■	Xiasis	アスリートのコンディショニングをサポートするスポーツドラッグストア	16
■	Victoria	都市型オールスポーツショップ	14
■		幅広い方に対応できる商品ラインアップとサービスのゴルフ専門店	158
■	L-Breath	ファッション感覚にあふれたアウトドア専門店	89
■	GOLF PARTNER J	中古・新品問わず、あらゆるクラブニーズに応える総合ゴルフショップ	231
		中古ゴルフ業界のバイオニア、豊富な在庫と安心価格	
■		北東北で地域特性に合わせた品揃えとサービスを展開する総合スポーツ店	29
■			
■		東南アジアにおけるゴルフ用品専門店	36
■	その他	ファンシー小物販売店、トレーニング機器展示販売店など、その他の専門店	49

※ROOKIE KIDS含む



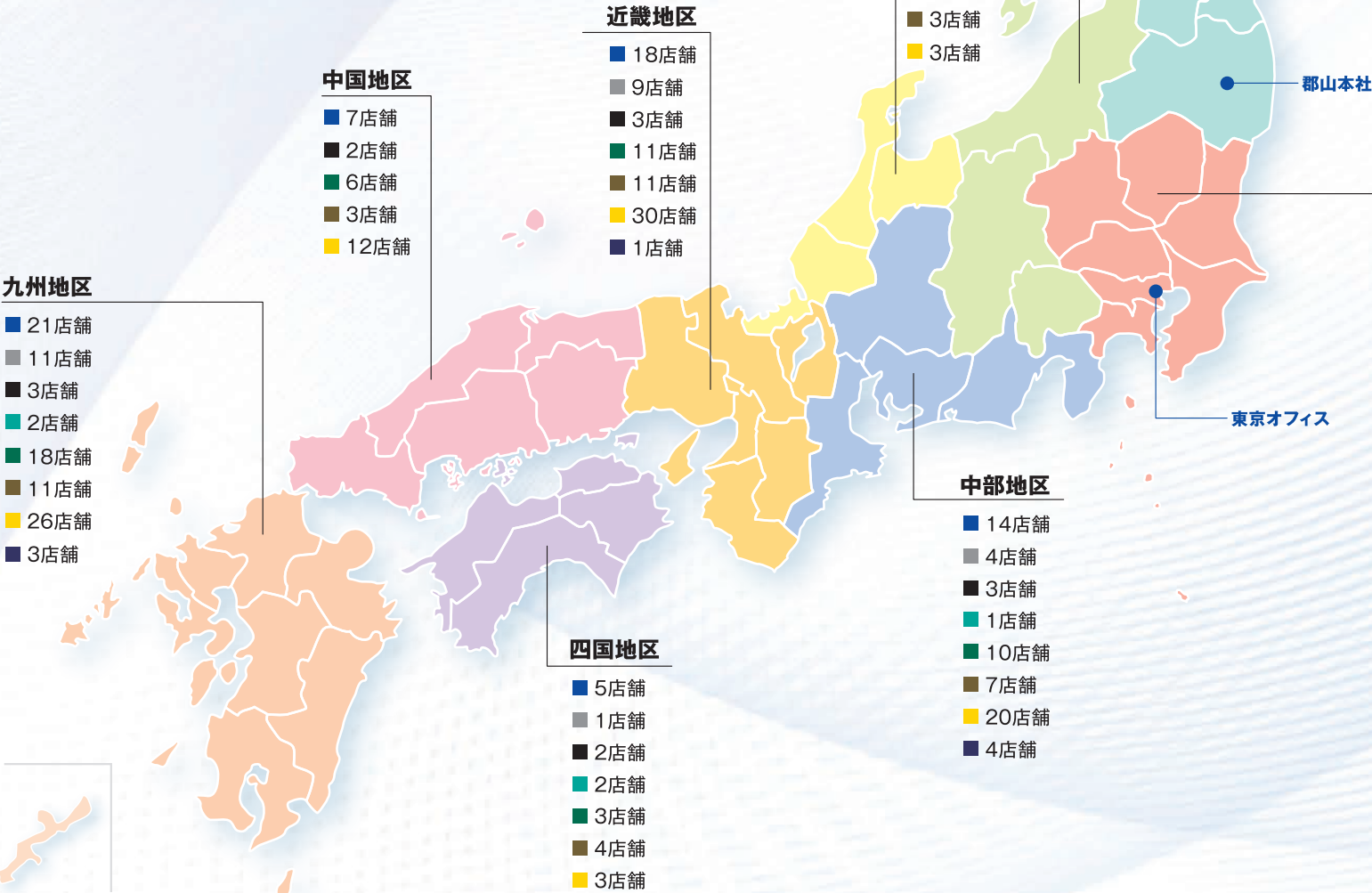
Golf Partner J Park
(Thailand)



スーパースポーツゼビオ
伊勢崎宮子店



スーパースポーツゼビオ
福岡天神店



PGA TOUR SUPERSTORE
旭川店



スーパースポーツネクサス
一関店



フェスティバルゴルフ
浜松町店



スーパースポーツヴィクトリア
CeeU Yokohama店



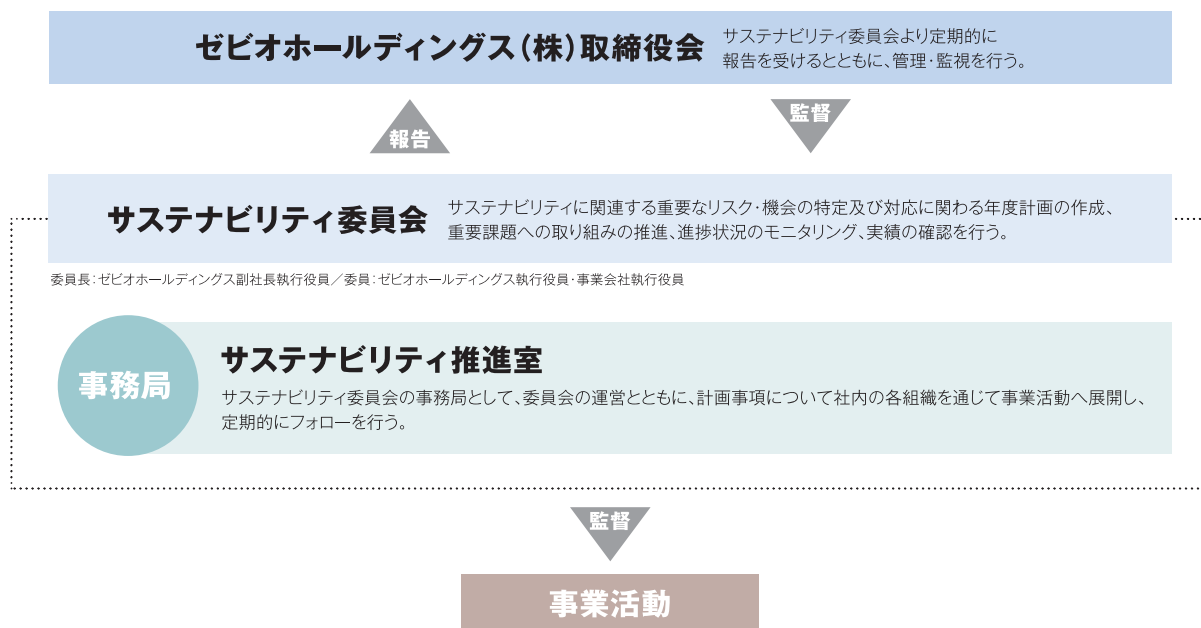
サステナビリティの基本方針

「希望に満ちた明るい未来」の実現。

ゼビオグループは、スポーツの持続的発展に寄与し、地域社会への貢献を行い、身近にスポーツがある健康的で充実した豊かな世界を創造することをミッションに、その実現に取り組んでいます。

その根底にある-Xebio Philosophy-をもとに、私たちゼビオグループは、スポーツを通じて「希望に満ちた明るい未来」の実現に取り組んでいきます。

サステナビリティ推進体制



Basic Sustainability Policy for the Hopeful Bright Future

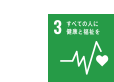
XEBIO Group contributes to sustainable development in sports and is devoted to the community. As a mission, we aim to create a healthy, fulfilling, and abundant environment that leads to a hopeful and bright future with our basic "XEBIO philosophy."

5つのマテリアリティ(重要課題)

ゼビオグループは、持続可能な社会を実現していくためのテーマとして、5つの「マテリアリティ」を特定し、事業活動を通じてこれらの解決に取り組みます。

この5つの「マテリアリティ」は、ゼビオグループミッション「スポーツの持続的発展に寄与し、地域社会への貢献を行い、身近にスポーツがある健康的で充実した豊かな世界を創造すること」を具現化するとともに、「2030年度ゼビオグループの目指す姿」の重要な羅針盤であり、マテリアリティの特定と対応を通じて持続可能な社会の実現を目指します。



5つのマテリアリティ(重要課題)		主なSDGs	
 地域社会との共生	地域の皆様と共に店舗を基点とした 人々が集う豊かな未来に向けた 街づくりの実現		  
 お客様の健康で 豊かなくらしの実現	未来に向けた お客様の心と身体を満たす Well-beingなくらしの実現		  
 サーキュラー・ エコノミーの推進	サーキュラー・エコノミーの推進による 未来に向けたサステナブルな地球環境と 企業成長の実現		  
 サプライチェーン全体の マネジメント	お取引様と共に創造する サステナブルな サプライチェーンの実現		  
 脱炭素社会の 実現	脱炭素経営を通じた 次世代へつなぐ 地球環境の創造		  

詳しくはこちらから▶



The 5 Materialities - Our Five Most Important Issues

XEBIO group works to create a healthy and fulfilled life with sports, contributing to the sustainable development of sports and the local community. This importance plays an essential role in realizing the purpose that we aim for in the year 2030.



キャリア教育のサポート

インターシップ・職場体験／スチューデントシティへの参加



全国の店舗で、小中学生、高校生、専門学校・大学生までの幅広い学生を対象に、職場体験実習を実施しています。コロナ禍で実施件数は減少しましたが、ピーク時には年間で1,200名、200校を超える生徒の皆さんが職場体験をしました。体験実習では、「小売業とはなにか」「お客様へ接する心構え」を伝え、朝礼から商品整理、清掃などさまざまな業務を通じて、仕事の大切さや背景に多くの人が関わっていることを学びます。そして店舗は単なる商品販売の場ではなく、お客様のスポーツライフを支えるインフラ(場所)であることも感じてもらうことができます。また、就職を控えた学生の皆さんには、社会人としてのマナーやコミュニケーションの重要性を学び、新しい知識や経験を得て視野を広げるきっかけを提供できると考えています。



スチューデント・シティは、公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本(JA Japan)と教育委員会が共催し、小学5、6年生を対象に職場実体験を行うプログラムです。実際の活動を通じて、社会の仕組みや経済の働き、お金について学びます。ゼビオグループを含む実在の企業が参加し、仮想店舗で商品の販売や取引を行い、「供給側」と「受ける側」を交互に体験します。2023年度には東京都品川区、宮城県仙台市、福島県いわき市の3か所で約14,400名が参加しました。スポーツナビゲーターが子どもたちをサポートし、小売りの楽しさや経営の仕組みを実感し成長してもらうことを目標にしています。今後もゼビオグループは、人財や知識、ノウハウを地域に還元し、キャリア教育支援など次世代リーダーの育成に協力していきます。

産学連携

地域社会に教育の場を提供



ゼビオグループでは、地域社会の持続的な発展に資する多様な取り組みを実施しています。取り組みの一環として、スポーツによる地域振興に着目し、2023年10月、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス総合政策・環境情報学部へ寄附講座を開講しました。スポーツを中核に据えた地域振興に関わる可能性や具体的な方策について紹介・検証しつつ、新たな社会変革の方向性に関する学生の学びと研究の場を提供しました。講師には、スポーツ業界で活躍される多様な方々をお招きし、最新のスポーツ現場についての知見を深め、各々が現場で直面する課題についてワークショップ形式で具体的な解決方法についての検証を行い、理解を深めました。

本講座にはゼビオグループ社員が参加し、学生と社会人が

共に学び合うことで、新たな気づきを得るとともに、地域社会の発展において企業が果たす役割を考えるリカレント教育(学び直し)の場としての役割も果たしています。今後もゼビオグループは、地域社会に教育の場を提供するとともに、地域振興に向けて産学一体となり様々な地域課題の解決を目指していきます。



Career Education Support

We have work experience programs for students from elementary school to university level to learn a real work experience. We will share our knowledge with the local communities, and cooperate to bring up the leaders of the next generation through our career education support.

Industry-Academia Collaboration

The XEBIO Group launched a course at Keio University's Shonan Fujisawa Campus focused on regional revitalization through sports. This course provides insights and workshops from sports industry professionals to address local challenges and promote new social strategies. Moving forward, we will continue providing educational opportunities to the local community and collaborate with academia and industry to address various regional issues.



スポーツを通じた地域振興活動

誰もがスポーツを楽しめる共生社会の実現



■東京ヴェルディ「スポーツ&SDGs普及活動」



東京ヴェルディは、長年にわたってホームタウンである東京都で「スポーツ&SDGs普及活動」を展開しています。

行政や企業と連携し、年間を通して「障がい者スポーツ体験教室」を開催しており、地域のスポーツ施設で障がい者スポーツ指導員の資格を持つ東京ヴェルディのコーチと一緒にスポーツを楽しむことができます。小中学校を訪問して、パラスポーツを体験してもらうプログラムを実施して



おり、オンラインでの開催やスポッティイベントでの指導など、年間200回を超える活動を実施しています。また、味の素スタジアムには、障がいのある方がリラックスしてJリーグを観戦できるよう、様々な障がいにあわせて部屋をカスタマイズした『Green Heart Room』を設置しています。

■東北フリーブレイズ



青森県八戸市を拠点として活動するプロアイスホッケーチーム「東北フリーブレイズ」は、ホームタウンである八戸市を中心に『TSR(Team Social Responsibility)』を展開しています。

近年、子どもたちが身体を動かす時間や機会が減少していることから、行政や市民の皆様と連携し、幼稚園・保育園、学校訪問を行い、子ども達と一緒にActive Kidsプログラムやフロアホッケーを開催、またホームアリーナであるFLAT



HACHINOHEにてスケート教室の開催を通し、アイスホッケーの普及・振興と、青少年の心身の健全な育成を図っています。

また八戸市スポーツ大使として市民の郷土への愛着と誇りを醸成することを目的とし、八戸市スポーツ大使ふるさとセミナーなどの地域イベントに積極的に参加し、地域活性化を目指す取り組みを行っています。

Sports & SDGs Promotion Activities of Tokyo Verdy

For many years now, Tokyo Verdy, a Japanese professional soccer team, has been promoting the "Sports and SDGs" activity in Tokyo. At Ajinomoto Stadium we installed the "Green Heart Room", where space was customized so that disabled people can relax and enjoy J.LEAGUE soccer games.

Tohoku Free Blades

Tohoku Free Blades, a professional ice hockey team based in Hachinohe City, Aomori Prefecture, is implementing their "TSR (Team Social Responsibility)" program centered around their hometown of Hachinohe. They also hold skating classes at their home arena, FLAT HACHINOHE. Through these activities, they aim to promote and develop ice hockey while fostering the healthy physical and mental growth of young people.



ゴルフクラブのリユース促進➡循環

GOLF PARTNER



中古ゴルフクラブの買取と販売

中古リユース市場のうち、約1,000億円がスポーツ・レジャー市場、そのうち約800億円が中古ゴルフショップ販売市場と言われています。(リフォーム産業新聞社「リサイクル通信 リユース市場データブック2021」より)。個人売買の拡大により、中古品への抵抗感も少なくなり、その市場規模は年々拡大し続けています。

その中でゴルフパートナーは50%以上の圧倒的シェアを誇り、業界をけん引し続けています。使用しなくなったゴルフクラブを年間で約180万本買取り、新たなユーザーへ約170万本のクラブを販売することで、リユースビジネスを通じて環境と経済が両立する循環型社会の実現に貢献しています。お客様に安心してゴルフクラブの売却や購入をしていただけるよう、ゴルフパートナー独自の「中古クラブアドバイザー」という資格制度を作り、日々更新されるゴルフクラブのブラッシュアップ研修を行っています。この資格を持ったスタッフを店舗に配置することで、査定時の見極めや偽物などの真贋判定など、お客様には安心して査定をお任せ頂いています。

今後もゼビオグループは、中古ゴルフ市場におけるリユース活動の推進を積極的に取り組んでいきます。



当社企画/開発商品の提供

お客様の立場に立った安心・安全・高品質な商品追求



ゼビオグループが開発し販売する商品の品質に関して、お客様に安心してご利用いただける商品の提供を目的に、「ゼビオグループ 衣料品・服飾品 品質管理要綱」を定め、運用しています。

①検査項目

ゼビオグループ品質基準に基づき、「染色堅牢度」「物性」等の機能性を含む生地検査および材料検査「耐洗濯性(耐ドライ性)」等の製品検査を行い、その合否により取扱いの可否を判定しています。

また、必須試験項目以外の試験項目においても確認が必要と判断される場合には、検査項目および検査方法を別途指定のうえ確認することとしています。

②安全性管理と環境への配慮

人体へ影響を及ぼす有害物質については、厚生労働省が定める各種法令を遵守し、原料・加工剤・染料等においても使用禁止および制限される物質について、適正な管理を行っています。

また、人体に危害を及ぼす危険物の混入を無くすよう、生産工場における針等の金属危険物の管理、検針体制の確認を徹底し、ゼビオグループ開発商品については、第三者機関による検品・検針の実施を必須としています。



Secondhand Golf Clubs

We purchase 1.8 million used golf clubs and sell 1.7 million annually. Our re-use business contributes to achieving a circular society compatible with the environment and economy.

Offering of Our Planned/Developed Products

The XEBIO Group has established guidelines to ensure product quality and safety. We conduct fabric and product inspections based on quality standards, including color fastness and wash resistance. We also comply with safety regulations, manage harmful substances, and mandate third-party inspections and needle detection for developed products.



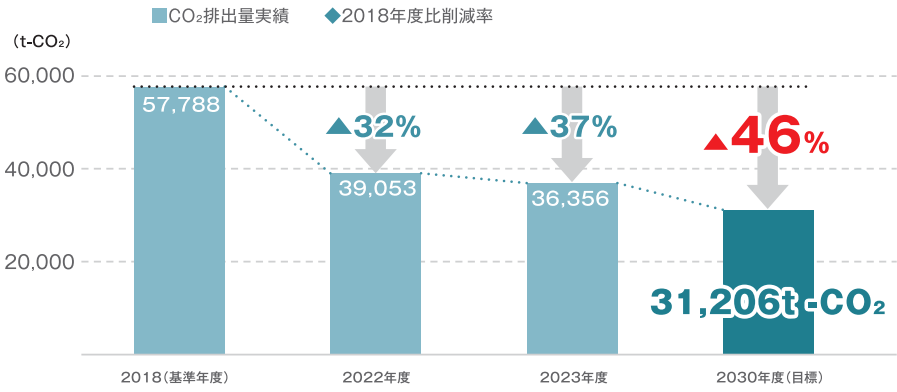
CO₂排出量削減の目標と実績



ゼビオグループは、事業活動におけるCO₂排出量を、2030年度までに2018年度比で約46%削減、2050年度までに実質ゼロを目指しています。2023年度のScope1.2における削減量は、基準年である2018年度に対し37%の削減となりました。

気候変動などの社会課題の解決に向けて、Scope1.2については店舗照明のLED化等の設備更新や太陽光発電設備導入等の環境に配慮した行動計画を策定し、排出量削減に向けた削減活動を推進しています。Scope3につきましては、今後お取引さまを含めた外部との連携を加速し、環境負荷の低減に向けた検討を進めていきます。

今後もゼビオグループは、持続可能な事業展開を目指し、脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいきます。



※主要な事業会社であるゼビオ株式会社、株式会社ヴィクトリア、株式会社ゴルフパートナーの合計値となります。※事業活動における電気使用量から算出する排出量のみの実績となります。

店舗内照明LED化による電気使用量の削減

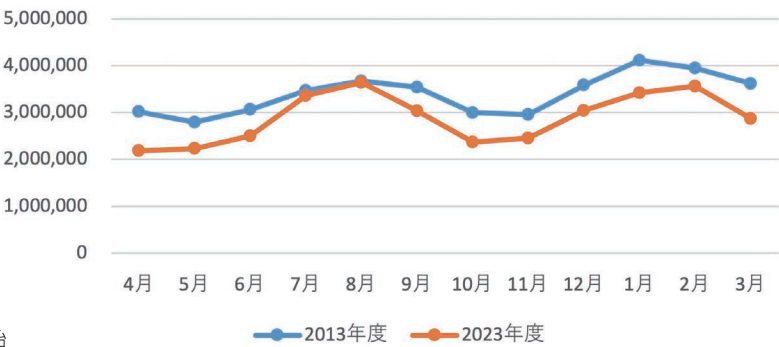


ゼビオグループでは、2011年より店舗照明のLED化を進めています。店舗運営で発生する電力を削減・省電力化し、より環境に配慮した店舗の運営体制づくりと持続可能な事業展開を目指し、脱炭素社会の実現に向けて今後も取り組んでいきます。

現在進捗状況
(2024年3月31日時点)

- ゼビオ(株) 2011年より新店・既存店LED化開始
174店舗中 173店舗売場LED化
- (株)ヴィクトリア 2012年より新店・既存店LED化開始
43店舗中 41店舗売場LED化
- (株)ゴルフパートナー 2015年度より新店・既存店LED化開始
231店舗中 134店舗売場LED化
- ゼビオ削減事例 (※SC内店舗を除く単独出店店舗実績)
【年間使用電力量】2013年度40,749,566Kw/h、2023年度34,658,217Kw/h、約15%の削減

ゼビオ社電気使用量年度比較kwh/月



Goals and Achievements in Reducing CO₂ Emissions

The XEBIO Group aims to cut CO₂ emissions by 46% from 2018 levels by 2030 and achieve net zero by 2050. In FY 2023, emissions decreased by 37% from 2018. Moving forward, we will continue to promote initiatives aimed at achieving sustainable business development and realizing a carbon-free society.

Reduce Electrical Usage by the Use of LED

XEBIO Group has been shifting to LED since 2011. We will proceed with our effort toward a decarbonized society.

西 暦	月	事 項
1962年	12月	福島県いわき市平で紳士服店を創業。
1973年	7月	紳士服販売を目的として、福島県いわき市に株式会社サンスーツを設立。
1979年	8月	株式会社サンキョウに商号を変更し、本店を福島県郡山市に移転。
	11月	福島市の旧長崎屋ビルにファッション&スポーツをテーマとした当社初の大型店を出店。
1983年	11月	郊外型スポーツ店の「トップスポーツ並木店」を郡山市に出店。
1984年	10月	郊外型メンズ店の「サンキョウ安積店」を郡山市に出店。
1985年	11月	郊外型カジュアル単独店の「メンズキャバ桑野店」を郡山市に出店。
1987年	11月	ゼビオ株式会社へ商号を変更。
1988年	4月	社団法人日本証券業協会東京地区協会に店頭登録。福島県郡山市朝日三丁目7番35号に新本社屋を竣工。
1990年	5月	東京証券取引所市場第二部に上場。
	7月	当社初の郊外型ゴルフ専門店「ゼビオスポーツ勝田店」を茨城県勝田市（現・ひたちなか市）に出店。
1992年	10月	本宮物流センター竣工。
	12月	郊外型大型複合店「スーパースポーツゼビオ仙台中央店（1フロア1,000坪）」を宮城県仙台市に出店。
1995年	9月	東京証券取引所市場第一部に指定替。
1999年	11月	国内最大級の売場面積（約2,500坪）を持ち自然をテーマにした「スーパースポーツゼビオドーム札幌月寒店」を北海道札幌市に出店。
2002年	3月	ゼビー業態を廃止し、スポーツ業態へ統合。
2004年	7月	ゼビオビジネスサービス株式会社を設立（現・ゼビオコーポレート株式会社）
2005年	4月	株式会社ヴィクトリアの株式を100%取得、子会社化。
	8月	ゼビオインシュアランスサービス株式会社を設立。
2006年	6月	ゼビオカード株式会社を設立。
2008年	7月	ゼビオナビゲーターズネットワーク株式会社を設立。
	10月	株式会社ゴルフパートナーの株式を公開買付けにより取得し、子会社化。
2009年	4月	株式会社ゴルフパートナーを簡易株式交換により完全子会社化。
2010年	6月	日本最大級の体験型スポーツモール「スーパースポーツゼビオドームつくば学園東大通り店」を茨城県土浦市に出店。
2011年	5月	クロススポーツマーケティング株式会社を設立。
2012年	2月	中華人民共和国上海市に賽標（中国）体育用品有限公司を設立。
	4月	大韓民国ソウル市に株式会社ゼビオコリアを設立。
2013年	12月	株式会社ネクサス設立。北東北で総合スポーツ専門店として展開していた株式会社タケダスポーツから23店舗の営業を譲り受ける。
2015年	10月	純粋持株会社体制へ移行。ゼビオホールディングス株式会社のもとに中核会社6社を配置。
2016年	2月	日本初のPGA TOUR公認ゴルフショップを出店。
2018年	4月	株式会社ゼビオコリアを株式会社ゴルフパートナーコリアに商号変更。
2019年	12月	静岡県および神奈川県内でスポーツ用品店などを展開する「シラトリグループ」と業務提携に係る基本合意書を締結。
2020年	3月	ゼビオインシュアランス株式会社をゼビオカード株式会社へ吸収合併。
	5月	国土観光株式会社をクロスアライアンス株式会社に商号変更。
2020年	12月	東京ヴェルディ株式会社の株式を取得し、連結子会社とする。
2021年	10月	株式会社バステルをゼビオ株式会社へ吸収合併。
2022年	4月	東京証券取引所の市場区分見直しにより、東京証券取引所の市場第一部からプライム市場に移行。
2023年	11月	グループ5業態を結集した九州最大級の基幹店「スーパースポーツゼビオ福岡天神店」を福岡県福岡市に出店。
2024年	3月	新たな会員・ポイントサービス「スポーツポイント」に参画。



Jul. 1973 Established as Sansuits Co., Ltd. in Iwaki City, Fukushima Prefecture, selling formal suits for men.
Nov. 1987 Trade name changed to XEBIO Co., Ltd.
Apr. 1988 New head office completed at 3-7-35, Asahi, Koriyama City, Fukushima Prefecture.
Dec. 1992 Suburban large complex "Super Sports XEBIO Izumi-Chuo Sendai" (floor area 3,30㎡), opened in Sendai City, Miyagi Prefecture.
Sep. 1995 Listing changed to the First Section of the Tokyo Stock Exchange.
Apr. 2005 Acquired 100% of shares of Victoria Co., Ltd.
Jun. 2010 Japan's largest experiential sports mall "Super Sports XEBIO Dome Tsukuba Gakuen-higashi Odori Store" opened in Tsuchiura City, Ibaraki Prefecture.
Dec. 2013 NEXAS Co., Ltd. Established.
Oct. 2015 Transition to a pure holding company completed.
Apr. 2022 Shifted from the First Section of the Tokyo Stock Exchange to the Prime Market due to revision of the Tokyo Stock Exchange's market classification.
Mar. 2024 Participated in the new membership and point service "Sports Point."

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、企業の経営環境が大きく変化する、従来型の経営手法ではグローバル化した環境変化には対応できない中で継続的に企業価値を高めていくためには、コーポレート・ガバナンスが重要な経営課題であり、また、企業活動を牽制する仕組みであると認識しています。このような中で、当社は代表取締役、取締役、監査役を中心とする相互監視ならびに社外取締役、社外監査役の選任によって、経

営の透明性、法令遵守、説明責任を確保しています。また、経営の中立性・客観性の確保及び一般株主の保護の強化を目的とし、社外役員の中より二名を独立役員として選任しています。これらにより当社は経営組織の改革に対して継続的に取り組み、コーポレート・ガバナンスの強化を進めていきます。

会社の機関の内容及び 内部統制システムの整備状況

当社は、2015年10月1日より純粋持株会社体制に移行しました。持株会社の傘下には、6社の中核子会社（グループ内子会社群を機能別にグルーピングしたチームのHQとしてチーム内のその他子会社に関する管理責任と権限を有する）を配置し、グループシナジーの醸成とグループガバナンスの強化を果たす体制を採用しています。

Basic Concept of Corporate Governance

In a world where the business environment is changing rapidly and conventional management approaches fail to meet changes in the global economy, XEBIO Group recognizes that corporate governance is a crucial management challenge and its system plays a dominant role in controlling corporate activities for up-scaling corporate value. We commit to continuously innovate the company's management systems and strengthen corporate governance practices.

取締役会と 執行役員制度

2024年6月27日現在、取締役会は取締役6名（うち社外取締役3名）で構成されており、経営の管理・監督と業務執行の明確な分離及び迅速な意思決定と責任の明確化を推し進めるべく、執行役員制度を導入しています。なお執行役員には、グループガバナンス強化の観点より、中核子会社の執行権限と、責任を担う中核子会社社長を中心に任命しています。経営の基本方針に関する重要事項を検討する機関といたしましては、代表取締役及び執行役員が構成メンバーになっている「グループ経営会議」を定期的に開催しています。なお、取締役の任期につきましては1年とし、経営責任をより明確にしています。

監査役会

当社は、監査役会設置会社であります。監査役会は、社外監査役2名（財務、税務の専門家）と1名の常勤監査役が、それぞれの立場から取締役を監視・監査しています。また、内部監査室と毎月報告会を開催し、相互連携を図っています。会計監査は、有限責任監査法人トーマツが会計監査業務を担っています。内部監査室、監査役及び会計監査人は、それぞれの間で定期的な連絡会を開催して報告を受けるなど連携を密にし、監査の有効性と効率性の向上に努めています。

ガバナンス委員会

グループの持続的な成長と中長期的な企業価値向上に重要な事項について、実効性のある議論を行う場として、代表取締役と社外取締役及び社外監査役で構成される諮問機関として設置しています。

コンプライアンス 委員会

各会社に設置しているコンプライアンス推進機関を総括的に管理し、各社状況の確認と指導、並びに各会社で発生する事例を共有することで、グループ全体として更なるコンプライアンスの推進を担うことを目的として設置しています。

人事・報酬委員会

取締役の指名・報酬等に係る取締役会の機能の独立性・客観性と説明責任を強化することを目的として、委員3名以上、うち過半数は社外取締役で構成される任意の諮問機関として設置しています。

サステナビリティ 委員会

サステナビリティを巡る課題への対応が重要な経営課題であるとの認識のもと、サステナビリティ委員会を取締役会直下の機関として任意に設置し、重要な課題・指標の決定については、取締役会で決議することで、その取り組みの更なる推進を図っています。

各種検討会

取締役会に付議する重要案件を精査・検討する機関として「投資検討会」「資産管理検討会」「グループシナジー検討会」を設置しています。

内部監査室

内部監査は、内部監査室を設置し室長以下スタッフが全てのグループ内関係会社の業務・内部統制監査を実施し、監査役とともにリスク管理とコンプライアンスの徹底・指導強化に努めています。

XEBIO Group's Corporate Governance Structure

The Board of Directors and Operating Officer System, the Board of Corporate Auditors, the Governance Committee, the Compliance Committee, the Human Resources and Remuneration Review Committee, the Sustainability Committee, the Internal Audit Office, the Advisory Board and various assessment committees.

アドバイザーボード

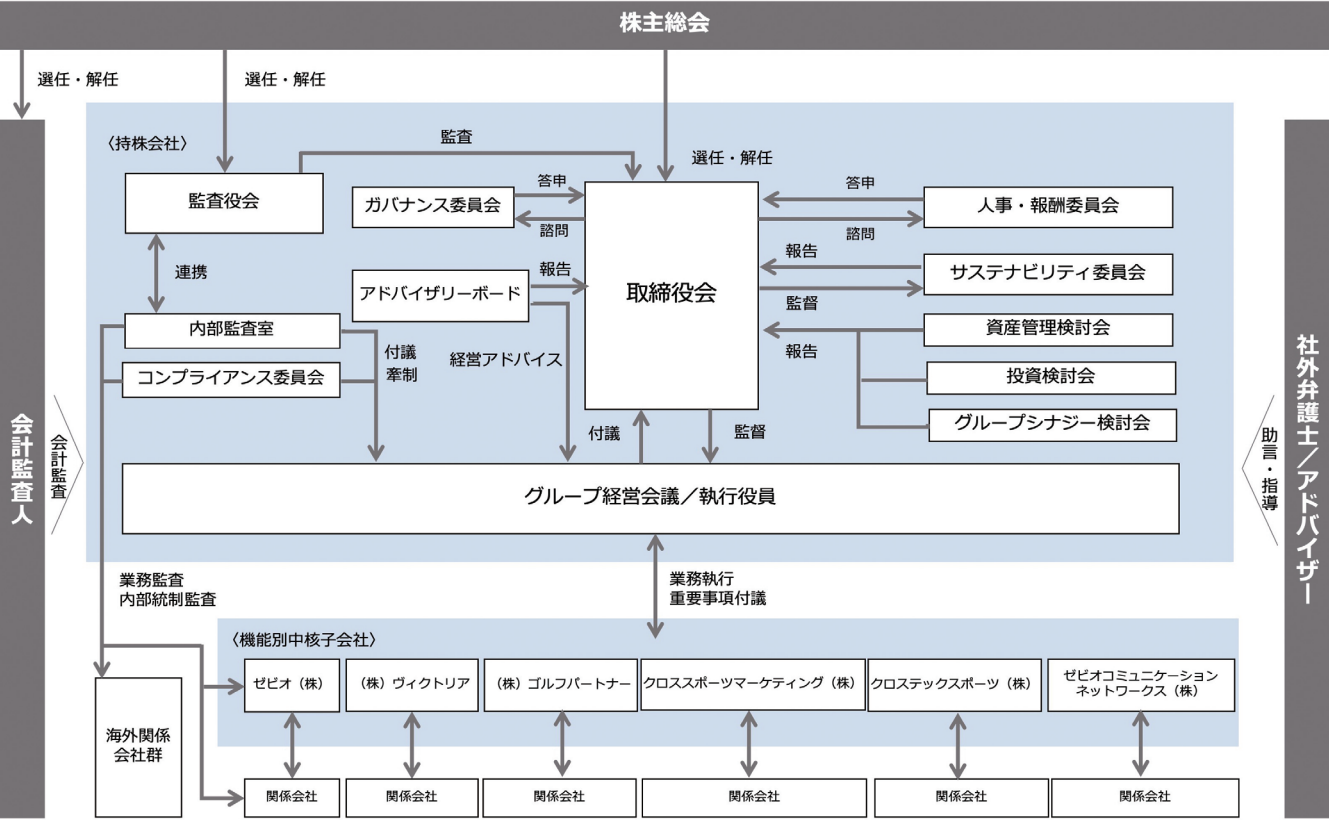
当社グループのコーポレート・ガバナンス体制の強化施策の一環として、それぞれの分野において深い知識と経験のある複数の外部有識者で構成する「アドバイザーボード」を設置しています。「アドバイザーボード」は代表取締役の諮問機関として、経営全般について客観的な立場からの評価・助言や経営課題に対する提言を得るなど、戦略の実行に外部の視点を取り入れ、経営の意思決定に反映させています。

当社グループは、これからも性別、年齢、人種や国籍、障がいの有無、性的指向、宗教・信条、価値観などの多様性だけでなく、キャリアや経験、働き方などの多様性も含む人材をアドバイザーボード・メンバーに迎え入れ、価値創造につながるダイバーシティ経営を推進することで、コーポレート・ガバナンス体制を強化していきます。

リスク管理体制の整備状況

リスク管理体制は、財務面については会計監査人や社外監査役等において定期的に監査が行われ、法務面については社外弁護士から適宜助言・指導を頂いています。また、コンプライアンスについても、役員・全従業員による法令・社内ルール・倫理規範の遵守徹底を図るための社内体制整備に注力しています。

〈当社のコーポレート・ガバナンス体制〉



Preparedness of Risk Management System

An accounting auditor and an external auditor audit financial issues. We receive proper advice and guidance from outside attorneys on legal issues. We focus on full compliance with regulations, internal rules and ethical codes by board members and employees.



コンプライアンス体制の構築

当社では、企業の社会的責任を果たすうえで、コンプライアンス委員会を設置しています。コンプライアンス委員会はグループ各社に設置しているコンプライアンス推進機関を総括的に管理し、各社状況の確認と指導、並びに各

会社で発生する事例を共有することで、グループ全体のコンプライアンス推進を担い、コンプライアンス意識の醸成に努めています。

コンプライアンス規定

法令等の遵守およびそのための組織体制の整備など、当社におけるコンプライアンスの取り扱いに関する事項を定め、誠実・公正な経営を確保することを目的としています。

コンプライアンス教育

外部講師による独占禁止法、下請け法、知的財産権（商標法、特許権、景品表示法）などの各種コンプライアンスセミナーやeラーニングも活用した定期的な社内研修を実施し、営業活動においての法令順守の実践と従業員の意識啓発を推進しています。

内部通報制度

従業員等からの組織的又は個人的な法令違反行為等に関する相談、または通報の適正な処理の仕組みを定めることにより、通報者の保護及び不正行為等の早期発見と是正を図り、コンプライアンス経営への取り組みを強化することを目的としています。

Building the Compliance System

To fulfill our social responsibility, we established the Compliance Committees that comprehensively manage compliance-promoting organizations in each subsidiary to foster awareness by sharing cases and confirming situations.



商 号	ゼビオホールディングス株式会社 (XEBIO Holdings Co., Ltd.)	東京オフィス	東京都千代田区神田錦町三丁目20番 錦町トラッドスクエア14階
本社所在地	〒963-8024 福島県郡山市朝日三丁目7番35号		
電 話	024-938-1111 (代表)	U R L	https://www.xebio.co.jp/ja/

中核会社



商 号	ゼビオ株式会社 (XEBIO Co., Ltd.)
本社所在地	〒963-8024 福島県郡山市朝日三丁目7番35号
東京オフィス	〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目20番 錦町トラッドスクエア14階
事業内容	スポーツ用品・用具、紳士・婦人・子供服の販売
電 話	024-938-1111 (代表)
U R L	https://www.supersports.co.jp/



商 号	ゼビオコミュニケーションネットワークス株式会社 (Xebio Communication Networks Co., Ltd.)
本社所在地	〒963-8024 福島県郡山市 朝日三丁目2番24号
東京オフィス	〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目4番2号 御茶ノ水三四ビル
事業内容	インターネットビジネス全般
電 話	024-927-7715 (代表)



商 号	クロススポーツマーケティング株式会社 (Xross Sports Marketing Co., Ltd.)
本社所在地	〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目20番 錦町トラッドスクエア14階
事業内容	マーケティング事業、リサーチ・コンサルティング事業、 イベント・プロモーション事業、プロパティ管理事業
電 話	03-5282-7655 (代表)
U R L	https://www.xsmktg.com/



商 号	株式会社ヴィクトリア (Victoria Co., Ltd.)
本社所在地	〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目20番 錦町トラッドスクエア12階
事業内容	スポーツ用品販売
電 話	03-5282-7700 (代表)
U R L	https://www.victoria.co.jp/



商 号	クロステックススポーツ株式会社 (Cross Tech Sports Co., Ltd.)
本社所在地	〒963-8024 福島県郡山市朝日三丁目7番35号
東京オフィス	〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目20番 錦町トラッドスクエア2階
事業内容	海外窓口業務、R&D業務
電 話	03-3294-7351 (代表)

主な連結子会社



商 号	ゼビオカード株式会社 (Xebio Card Co., Ltd.)
本社所在地	〒963-8024 福島県郡山市朝日三丁目2番24号
事業内容	クレジットカード事業、割賦販売事業等



商 号	ゼビオコーポレート株式会社 (Xebio Corporate Co., Ltd.)
本社所在地	〒963-8024 福島県郡山市朝日三丁目7番7号
東京オフィス	〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目20番 錦町トラッドスクエア14階
事業内容	バックオフィスシェアード業務
電 話	024-901-1001 (代表)

取締役及び監査役 / Directors & Corporate Auditors

(2024年6月27日現在)



代表取締役
諸橋 友良
President
Tomoyoshi Morohashi



取締役
北澤 猛
Director
Takeshi Kitazawa



取締役
藤澤 剛
Director
Tsuyoshi Fujisawa



社外取締役 ^{※1}
岩本 保
External Director ^{※1}
Tamotsu Iwamoto



社外取締役 ^{※1}
住田 智子
External Director ^{※1}
Tomoko Sumida



社外取締役 ^{※1}
篠原 倫太郎
External Director ^{※1}
Rintaro Shinohara



常勤監査役
干川 勇一
Full-time Corporate Auditor
Yuuichi Hoshikawa



社外監査役 ^{※2}
小谷野 幹雄
External Corporate Auditor ^{※2}
Mikio Koyano



社外監査役 ^{※2}
菅野 仁
External Corporate Auditor ^{※2}
Hitoshi Kanno

※1 会社法第2条第15号に定める社外取締役 ※1 External director as stipulated in Article 2 Paragraph 15 of the Companies Act
※2 会社法第2条第16号に定める社外監査役 ※2 External corporate auditor as stipulated in Article 2 Paragraph 16 of the Companies Act

執行役員 / Corporate Officers

(2024年6月27日現在)



副社長執行役員
クロススポーツマーケティング株式会社
代表取締役社長兼執行役員
中村 考昭
Vice President,
Corporate Officer
Takaaki Nakamura



副社長執行役員
ゼビオコミュニケーションネットワークス株式会社
代表取締役社長兼執行役員
島貫 慶太
Vice President,
Corporate Officer
Keita Shimanuki



副社長執行役員
スポーツサイエンス総合研究所株式会社
代表取締役社長兼エグゼクティブフェロー
近野 泰
Vice President,
Corporate Officer
Yasushi Konno



執行役員
株式会社ゴルフパートナー
代表取締役社長兼執行役員
石田 純哉
Corporate Officer
Junya Ishida



執行役員
株式会社ヴィクトリア
代表取締役社長兼執行役員
中村 裕哉
Corporate Officer
Yuya Nakamura

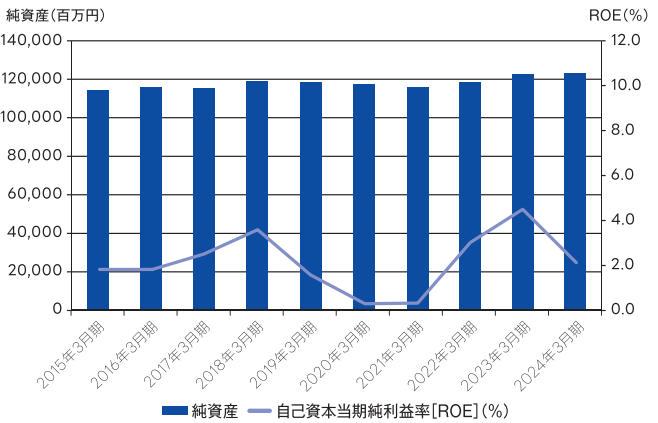
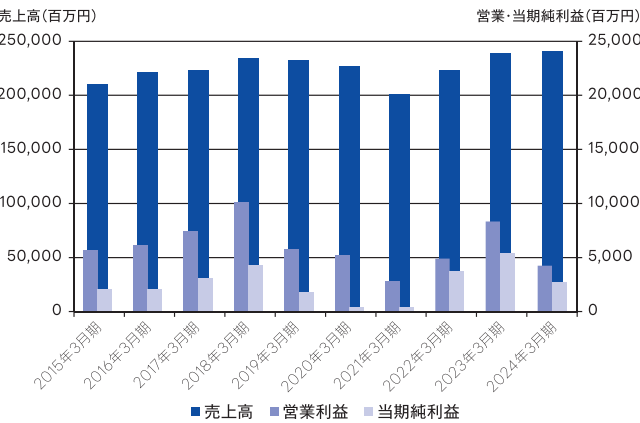


執行役員
クロステックススポーツ株式会社
代表取締役社長兼執行役員
村井 宏行
Corporate Officer
Hiroyuki Murai

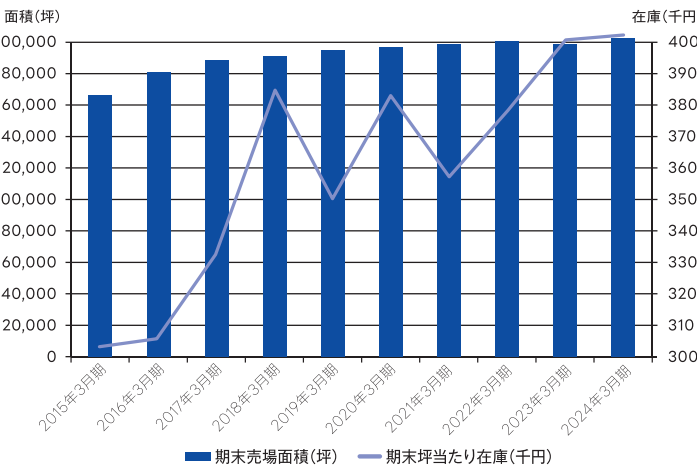
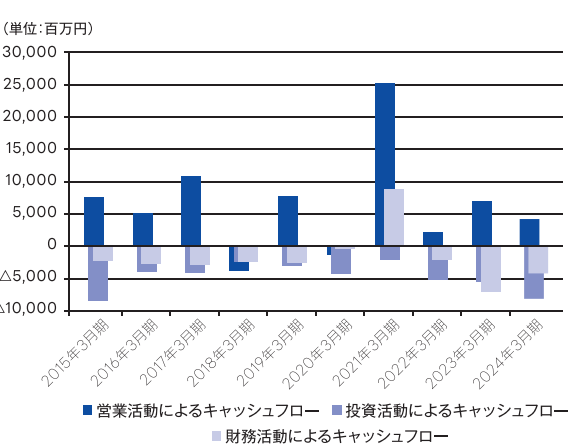


執行役員
ゼビオコーポレート株式会社
取締役副社長兼執行役員
中村 和彦
Corporate Officer
Kazuhiko Nakamura

財務ハイライト	(単位：百万円)			
	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
経営成績				
売上高	210,672	221,391	223,353	234,595
売上総利益	80,850	85,614	89,171	92,761
営業利益	5,654	6,169	7,428	10,921
経常利益	6,432	6,396	7,499	11,389
当期純利益	2,084	2,120	2,991	4,249
財政状況				
流動資産	105,153	106,759	117,908	119,932
有形固定資産	40,663	41,439	39,391	35,853
無形固定資産	8,233	7,706	6,470	5,627
投資その他資産	27,648	24,969	24,973	26,718
資産合計	181,698	180,875	188,744	188,131
流動負債	57,231	56,791	63,761	60,349
固定負債	8,685	8,426	8,203	8,099
純資産	115,781	115,657	116,779	119,682
キャッシュフロー				
営業活動によるキャッシュフロー	7,424	5,138	10,444	△3,887
投資活動によるキャッシュフロー	△8,427	△3,913	△4,090	△2,363
財務活動によるキャッシュフロー	△2,293	△2,574	△2,882	△2,427
1株当たり情報				
1株当たり純資産 (円)	2,560.85	2,556.27	2,603.52	2,665.51
1株当たり当期純利益 (円)	46.24	46.95	66.89	95.08
1株当たり配当金 (円)	35.00	35.00	35.00	35.00
財務指標				
自己資本当期純利益率 [ROE] (%)	1.8	1.8	2.6	3.6
総資産経常利益率 [ROA] (%)	3.5	3.5	4.0	6.1
自己資本比率 (%)	63.6	63.8	61.6	63.3
その他データ				
期末売場面積 (坪)	180,796	188,755	193,193	191,890
期末坪当たり在庫 (千円)	303	305	333	389



	(単位：百万円)					
	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
	231,629	225,312	202,438	223,282	239,293	242,433
	87,896	88,727	78,820	87,053	91,773	92,887
	5,766	5,247	2,767	4,999	8,327	4,204
	6,725	5,842	4,342	7,851	9,242	5,405
	1,884	408	412	3,836	5,397	2,592
	118,104	118,397	146,628	147,012	145,805	139,969
	33,857	34,316	31,899	31,891	35,385	36,539
	6,181	5,035	5,327	5,495	6,784	8,203
	25,912	25,172	23,626	23,908	23,325	24,818
	184,054	182,921	207,482	208,308	211,300	209,530
	56,982	54,980	69,793	74,684	72,177	70,559
	8,591	10,689	21,336	14,915	16,555	14,157
	118,481	117,251	116,353	118,708	122,567	124,813
	7,572	△ 1,305	25,369	2,235	7,020	4,274
	△ 3,010	△ 4,299	△ 2,019	△ 5,164	△ 5,477	△ 8,041
	△ 2,658	△ 418	8,511	△ 2,119	△ 7,911	△ 4,138
	2,667.14	2,640.13	2,621.34	2,674.23	2,760.04	2,806.34
	42.41	9.23	9.32	86.77	122.09	58.62
	35.00	32.50	30.00	30.00	30.00	30.00
	1.6	0.3	0.4	3.3	4.5	2.1
	3.6	3.2	2.1	3.8	4.4	2.6
	64.1	63.8	55.9	56.8	57.7	59.2
	195,673	196,919	198,581	200,527	198,738	202,701
	350	382	357	378	406	409



連結貸借対照表

(単位:百万円)		
	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,890	24,941
受取手形及び売掛金	23,414	22,584
営業貸付金	878	809
商品	80,714	82,943
未収還付法人税等	157	239
その他	8,188	8,850
貸倒引当金	△438	△399
流動資産合計	145,805	139,969
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	52,445	53,162
減価償却累計額	△38,560	△38,614
建物及び構築物(純額)	13,885	14,547
土地	13,984	14,066
リース資産	6,091	6,072
減価償却累計額	△1,853	△2,308
リース資産(純額)	4,238	3,763
建設仮勘定	291	199
その他	22,463	24,264
減価償却累計額	△19,477	△20,302
その他(純額)	2,985	3,961
有形固定資産合計	35,385	36,539
無形固定資産		
のれん	330	44
ソフトウェア	3,831	5,659
その他	2,622	2,500
無形固定資産合計	6,784	8,203
投資その他の資産		
投資有価証券	953	2,521
長期貸付金	12	6
繰延税金資産	4,574	3,792
差入保証金	1,465	1,267
敷金	14,013	13,972
投資不動産	3,120	3,119
減価償却累計額	△1,289	△1,305
投資不動産(純額)	1,831	1,813
退職給付に係る資産	103	1,055
その他	539	549
貸倒引当金	△168	△161
投資その他の資産合計	23,325	24,818
固定資産合計	65,494	69,561
資産合計	211,300	209,530

(単位:百万円)			
	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)	
負債の部			
流動負債			
支払手形及び買掛金	23,429	17,535	
電子記録債務	29,032	32,966	
短期借入金	800	700	
1年内返済予定の長期借入金	1,840	1,838	
未払法人税等	1,521	547	
賞与引当金	1,299	1,319	
役員賞与引当金	15	15	
ポイント引当金	78	170	
その他	14,160	15,467	
流動負債合計	72,177	70,559	
固定負債			
長期借入金	4,772	2,936	
リース債務	5,222	4,479	
退職給付に係る負債	862	842	
役員退職慰労引当金	59	59	
資産除去債務	4,768	4,991	
その他	870	847	
固定負債合計	16,555	14,157	
負債合計	88,732	84,717	
純資産の部			
株主資本			
資本金	15,935	15,935	
資本剰余金	16,119	16,119	
利益剰余金	96,499	97,765	
自己株式	△6,498	△6,498	
株主資本合計	122,056	123,321	
その他の包括利益累計額			
その他の有価証券評価差額金	185	442	
為替換算調整勘定	197	△32	
退職給付に係る調整累計額	△415	337	
その他の包括利益累計額合計	△32	748	
新株予約権	341	381	
非支配株主持分	202	361	
純資産合計	122,567	124,813	
負債純資産合計	211,300	209,530	

株式情報

(2024年3月31日現在)

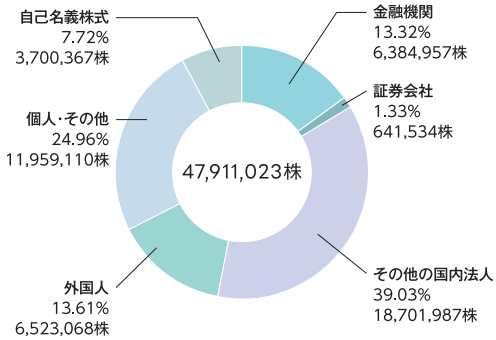
証券コード: **8281**
上場証券取引所:
東京証券取引所市場第一部

株式の状況

発行可能株式総数 **135,000,000株**
発行済株式の総数 **47,911,023株**
株主数 **47,263名**

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社サンビック	8,252,605	18.7
公益財団法人諸橋近代美術館	4,500,000	10.2
有限会社ティー・ティー・シー	4,121,466	9.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,109,600	7.0
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,561,800	3.5
諸橋 輝子	1,392,364	3.1
諸橋 友良	1,173,950	2.7
RHB合同会社	900,897	2.0
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	668,104	1.5
MSIP CLIENT SECURITIES	644,883	1.5

所有者別 株式分布状況



※1.当社は、自己株式3,700,367株を保有しており、上記の大株主から除外しております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。
※2.信託銀行の所有株式数には、信託業務に係る株式数が含まれております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自2022年4月1日 至2023年3月31日)	当連結会計年度 (自2023年4月1日 至2024年3月31日)
売上高	239,293	242,433
売上原価	147,519	149,546
売上総利益	91,773	92,887
販売費及び一般管理費	83,446	88,682
営業利益	8,327	4,204
営業外収益		
受取利息	76	84
受取配当金	11	14
不動産賃貸料	717	747
為替差益	323	555
業務受託料	321	389
助成金収入	114	13
その他	365	427
営業外収益合計	1,931	2,232
営業外費用		
支払利息	64	104
不動産賃貸費用	451	453
業務受託費用	343	321
その他	157	151
営業外費用合計	1,016	1,031
経常利益	9,242	5,405
特別利益		
固定資産売却益	5	2
受取保険金	173	40
受取和解金	72	—
受取移転補償金	143	45
新株予約権戻入益	135	0
預り保証金解約益	9	—
投資有価証券売却益	—	4
特別利益合計	538	93
特別損失		
固定資産除却損	122	30
固定資産売却損	0	0
減損損失	655	694
災害による損失	—	105
店舗閉鎖損失	—	25
事業整理損	49	—
賃貸借契約解約損	116	14
ポイント制度変更に伴う損失	—	106
特別損失合計	944	977
税金等調整前当期純利益	8,836	4,521
法人税・住民税及び事業税	3,032	1,434
法人税等調整額	209	355
法人税等合計	3,241	1,789
当期純利益	5,594	2,731
非支配株主に帰属する当期純利益	196	139
親会社株主に帰属する当期純利益	5,397	2,592

連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自2022年4月1日 至2023年3月31日)	当連結会計年度 (自2023年4月1日 至2024年3月31日)
当期純利益	5,594	2,731
その他の包括利益		
その他の有価証券評価差額金	138	257
為替換算調整勘定	△440	△209
退職給付に係る調整額	24	753
その他の包括利益合計	△278	800
包括利益(内訳)	5,316	3,531
親会社株主に係る包括利益	5,138	3,372
非支配株主に係る包括利益	178	158

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自2022年4月1日 至2023年3月31日)	当連結会計年度 (自2023年4月1日 至2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	8,836	4,521
減価償却費	3,640	4,806
減損損失	655	694
のれん償却額	427	286
貸倒引当金の増減額(△は減少)	53	△46
賞与引当金の増減額(△は減少)	△170	19
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△12	91
契約負債の増減額(△は減少)	△89	△132
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△42	△20
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	35	△952
受取利息及び受取配当金	△88	△99
支払利息	64	104
受取保険金	△173	△40
助成金収入	△114	△13
固定資産売却益	△5	△2
新株予約権戻入益	△135	△0
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△4
預り保証金解約益	△9	—
固定資産除却損	122	30
固定資産売却損	0	0
災害による損失	—	105
店舗閉鎖損失	—	25
賃貸借契約解約損	116	14
事業整理損	49	—
受取移転補償金	△143	△45
受取和解金	△72	—
ポイント制度変更に伴う損失	—	106
売上債権の増減額(△は増加)	△718	963
営業貸付金の増減額(△は増加)	89	69
棚卸資産の増減額(△は増加)	△4,581	△2,037
仕入債務の増減額(△は減少)	1,846	△2,026
未払消費税等の増減額(△は減少)	750	△131
その他	△176	342
小計	10,155	6,629
利息及び配当金の受取額	88	99
利息の支払額	△66	△75
法人税等の支払額	△3,768	△2,635
法人税等の還付額	108	157
保険金の受取額	173	40
助成金の受取額	114	13
移転補償金の受取額	143	45
和解金の受取額	72	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,020	4,274

投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,357	△4,325
有形固定資産の売却による収入	27	14
有形固定資産の除却による支出	△101	△1
無形固定資産の取得による支出	△2,184	△2,807
長期前払費用の取得による支出	—	△112
投資有価証券の取得による支出	△21	△1,193
投資有価証券の売却による収入	—	17
敷金及び保証金の差入による支出	△490	△876
敷金及び保証金の回収による収入	569	1,157
預り保証金の返還による支出	△10	△19
預り保証金の受入による収入	22	31
その他	68	74
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,477	△8,041
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	30	△100
長期借入金の返済による支出	△6,020	△1,836
長期借入れによる収入	220	—
リース債務の返済による支出	△755	△864
自己株式の取得による支出	△0	△0
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△59	—
配当金の支払額	△1,326	△1,336
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,911	△4,138
現金及び現金同等物に係る換算差額	△634	△43
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,003	△7,949
現金及び現金同等物の期首残高	39,893	32,890
現金及び現金同等物の期末残高	32,890	24,941